

学校教育目標「富士に輝く須山っ子」

重点目標「自分らしく輝く」

- ☆☆☆ 自ら考え行動し、周囲から認められる（判断力UP↑）
- ☆☆ 与えられたことをやり遂げ、周囲から認められる（自己有用感UP↑）
- ☆ 与えられたことや言われたことをやり遂げる（責任感UP↑）

学校経営目標

- ①自ら考え行動し、何事にも挑戦する強い心を育てる
- ②一人一人が輝ける授業づくり（主役は子供）
- ③異学年交流で社会性を育み、子供同士の絆を深める



めざす子供の姿

- ①・すすんであいさつをする 100%
 - ・学校生活を楽しんでいる 100%
 - ・自分で考えて行動する 95%
- ②・あたたかな聴き方をする 95%
 - ・やさしい話し方をする 95%
 - ・わからないといえる 90%
- ③・自分は他の人の役に立っていると感じる 95%

つなぐ

何を学ぶか

- ・「聴く・話す・話し合う（つなぐ）・書く」を重点とした学習
- ・育成した資質・能力を活用した「生活科・総合的な学習」
- ・互いの考えや立場を認め合う態度（いじめの根絶）
- ・異学年活動（特別活動・学校行事）において培う自己有用感

子供への支援

- ・個に応じた指導
- ・保護者との連携
- ・専門機関との連携
- ・ケース会議の充実

どのように学ぶか

- ・「学習の手引き」「学習マム」「話す、聴くのステップアップ表」を使用して学習する
- ・「一人学び」によって自分の考えを持つ
- ・ノートの書き方
- ・やさしい話し方やあたたかな聴き方を通して、互いの考えを認める
- ・「～たい」を大切に探究学習の充実
- ・異学年活動における自分の役割を自覚し活動する（たてわり班活動等）

何が必要か

- ①幼小中の連携・接続
 - ・義務教育終了時に願う子供の姿を共有し、指導の連携を図る
 - ・**“野の花のようなしなやかさと清らかさをもっている子”**
 - ・研修交流（要請訪問 年4回）を実施し、教師力を高める
 - ・幼小中の系統的指導の充実
スローガン **“あいさつ へんじ たすけあい”**
 - ・幼小中連携連絡協議会を行い、連携の深化や情報交換を行う

- ②家庭・地域との連携
 - ・学校運営協議員やPTA、地区外郭団体等との連携
 - ・コミュニティスクールを推進する中で、地域理解を促進し、学習体験活動を充実させる
 - ・地域、家庭からの評価によるPDCA
 - ・外部と連携した訓練・体験による安全への主体的姿勢の涵養
 - ・須山地区で生活したい、須山地区に戻ってきたいと思うような、地区の魅力を感じる活動の推進や情報発信→須山小の魅力へ